

平成28年度県北地域農業改革の取組成果について

1 中山間地域特産品目振興（中山間地域の特徴を活かした多様な産地づくり）

[主な成果]

項目	主な内容
<p>ブランド化の推進</p>	<p>【りんご】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大子町のオリジナルりんご品種『奥久慈宝紅（おくくじほおべに）』[平成29年7月7日商標登録]を地域オリジナルブランドとして育成するため、穂木の配布や部会青年部による苗木生産を指導し、栽培面積拡大を図っています。 ● 国際宇宙ステーション補給機「こうのとり」へ大子町産りんごの提供を支援し、産地PRにつながりました。 <div data-bbox="1093 398 1503 795" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1212 806 1404 873" data-label="Caption"> <p>『奥久慈宝紅』 (おくくじほおべに)</p> </div>
	<p>【枝物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● J A 常陸大宮地区枝物部会に対し、適期防除や管理指導，促成品目の拡大を推進した結果，生産品目数の拡大や生産者の増加により，平成28年度の販売金額は7,600万円(H26対比178%)となりました。また，ハナモモの株枯れ対策技術確立のための実証ほを設置しました。 ● 常陸大宮市，大子町における農業入門講座の開催（4回），就農相談等により，新規部会員4名を確保できました。 ● 東京農大との連携を通して常陸太田市内において新規栽培者を募集した結果，定年帰農者など新規栽培者を23名確保できました。 <div data-bbox="1045 907 1503 1243" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1133 1249 1420 1288" data-label="Caption"> <p>枝物部会太田支部設立</p> </div>
<p>花貫フルーツほおずき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 中山間地の気候を活かした特産品として「食用ほおずき」の産地化・ブランド化を「花貫フルーツほおずき倶楽部」への支援を通じて推進しています。食の専門家のアドバイスや高萩市と連携し，新規加工品（アイス）を開発し，3,000個以上販売しました。 ● 茨城県内のおみやげ品のコンクール「茨城おみやげ大賞2016」において，「花貫フルーツほおずきアイスセット」が最高金賞（上位10品が対象）を受賞しました。 <div data-bbox="1045 1585 1503 1944" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1117 1960 1460 2004" data-label="Caption"> <p>贈答用パッケージとアイス</p> </div>

2 中山間地域の水田・畜産経営の強化（中山間地域農業を支える水田・畜産経営の強化）

[主な成果]

項目	主な内容
<p>飼料用米の推進</p>	<p>●軟弱地盤による不等沈下が問題になっている高萩市赤浜地区において、レーザーレベラーによるほ場の均平化や土壌分析に基づく施肥，生育診断に基づく流し込み施肥など栽培管理指導を実施した結果，作付面積は 1.3ha（計 7.8ha）拡大し，収量も 437.3kg/10a と前年と比べて 75.3kg 増えました。</p> <p>●また，高萩市赤浜地区において農地中間管理事業を活用し，地元の認定農業者に農地集積を図った結果，農地集積率は 59.4%になり，農地集積や田植機の導入支援を通じて作業の効率化を図ることができました。</p>
<p>繁殖和牛の確保推進</p>	<p>●肉用牛の子牛を育てる繁殖和牛農家の育成と担い手確保を目指し，牛の飼養管理に関する基礎講義や繁殖和牛農家での体験実習等を内容とする新規繁殖和牛経営入門講座（講座 4 回，実習 4 回）を開催し，17 名に修了証を交付しました。</p> <p>●「地域づくり放牧推進事業」を活用し，3 団体が繁殖雌牛の導入にあわせて，電牧資材・スタンション等の放牧関連資材を整備し，放牧の推進を図ることができました。</p>



ほ場均平化作業



入門講座修了式

3 担い手の確保・育成（新規参入者や定年帰農者、女性など多様な人材の確保・育成）

[主な成果]

項目	主な内容
<p>新規就農者等担い手の確保</p>	<p>●個別相談や常陸大宮市で開催した就農相談会において、就農希望者に対して、研修先や支援事業の紹介、経営プランの指導などを行いました。その結果、45歳未満の新規就農者33名が就農しました。 （日立市1名、常陸太田市6名、高萩市1名、北茨城市2名、常陸大宮市17名、大子町6名）</p>  <p style="text-align: center;">就農相談会</p> <p>●常陸大宮市のねぎ産地の担い手を確保するため、研修生受け入れの情報提供を積極的に行い、JA常陸ねぎ部会組合の農家において2名の方が研修することになりました。研修後も独立就農や雇用就農できるよう支援を続けます。</p>
<p>農協出資型法人の支援</p>	<p>●畑総三美地区において、地域の新たな担い手である(株)JA常陸アグリサポートを支援し、ねぎなどの新たな野菜の産地化を進めることができました。</p>  <p style="text-align: center;">三美地区のねぎ畑</p> <p>●新規就農者の確実な定着を図るため、(株)JA常陸アグリサポートが研修生の受入先の一つになれるよう「地域担い手確保・育成事業」の活用を支援（説明会6回開催）した結果、「常陸大宮地域就農支援アドバイザー」への委任により、産地自らが研修から就農定着までを一貫して支援する体制を整備することができました。</p>

4 新たな道の駅を活用した地域活性化(「新たな道の駅」等を拠点とした魅力ある地域づくり、地域資源を活用した特色あるアグリビジネスの創出)

[主な成果]

項目	主な内容
<p>常陸太田市 「道の駅」 支援</p>	<p>●直売所生産者出荷協議会の取組を支援し、直売所で販売された地元農産物の割合は約75%に達しました。</p> <p>●また、来場者と生産者との交流活動を促進し、JA常陸ぶどう部会青年部による婚活イベント(8月)、JA常陸ナシ部会の品評会と即売会(8月)、出荷者協議会のけんちん汁無償配布と生産者8名による即売会(1月)を行いました。</p>
<p>常陸大宮市 「道の駅」 支援</p>	<p>●農産物出荷部会の取組を支援し、直売所の目玉商品の一つとしてロマネスコやカリフローレなど西洋野菜の販売が始まり品揃えを増やしました。</p> <p>また、施設化による作期拡大(トマトやキュウリ等)や、端境期の作付(根菜類や葉物等)を増やすことにより、年間を通じて地元産野菜を購入できるよう取り組んでいます。</p> <p>●地元の岩崎地区を中心に取り組まれているエゴマの特産品づくりを支援しました。栽培面積が拡大し、収穫されたエゴマは、荏胡麻生産組合がえごま油やエゴマパウダーに加工しているほか、地域の加工グループ等によりエゴマ入りの餅やコンニャク、ドレッシングなどに加工され、道の駅で販売されています。</p>



ナシの品評会の様子



地元野菜の販売